



夏休み体験ボランティア事業 13名がボランティア体験！

若桜町社会福祉協議会では、若桜学園5年生から9年生を対象として夏休み期間中にボランティア体験を毎年実施しています。今年は高校生ボランティアサークル「さくらあくる」と一緒に活動を行いました。

ボランティア活動を通して「他人に共感すること」「自分が大切な存在であること」「社会の一員であることを実感し、思いやりの心を育むこと」を目指しています。

食事サービス

75歳以上独居世帯・80歳以上のみの世帯・障がい者世帯の希望者へ毎週水曜日にお弁当を配達し、安否確認、見守りおよび食事支援を行っています。配達ボランティアに同行してお弁当を届けました。



お弁当です。
熱中症には
気を付けて
下さい。

久しぶりのこども園で、ボランティア活動ができ、いい体験でした。



わかさ・あすなろ

初めてのボランティア活動でしたが、利用者のみなさんが優しく話しかけてくれて嬉しかったです。



作業所のこんにやく畑



作業所のこんにやく畑で若桜学園の生徒、「さくらあくる」のボランティア、地域の方、利用者と草取りをしました。

暑い日だったため、熱中症にならないように気を付けて活動を行いました。

こんなにきれいになりました。

食中毒予防研修会

7月17日（木）に「食中毒予防研修会」を開催しました。講師に鳥取市保健所生活安全課の住谷志歩氏をお招きし、食事サービスの調理・配達ボランティアや赤十字奉仕団員他、一般の町民の方々も参加され、食中毒予防について学びました。

食中毒の原因菌やウイルスの特徴とともに、「食中毒予防の三原則」として

食中毒の原因菌を

①つけない

- ・手洗い、調理器具の使い分け、消毒など

②増やさない

- ・生鮮食品は10度以下で保存
- ・調理済み食品を室温に放置しない

③やっつける

- ・中心温度75度以上で1分以上加熱
(ノロウイルスは85～90度で90秒以上)



住谷講師による講義

この3点を守ることが大切だとお話がありました。

食事サービス事業に携わる方だけでなく、日常の調理にも役立つ内容で、とても有意義な時間となりました。

赤十字健康生活支援講習短期講習

若桜町赤十字奉仕団は社会福祉協議会と共催で8月8日（金）に赤十字健康生活支援講習短期講習を開催しました。講師に日本赤十字社鳥取県支部の中原眞理子氏をお招きし、応急手当として活用できる三角巾の使用方法、たたみ方、結び方等を教わりました。会の最後には、日本赤十字社岡山県支部が制作された「ももたろう」の歌に合わせたリズム体操で身体を動かし、充実した講習になりました。



いざというときに役立つ三角巾の使い方を実習。
簡単そうに見えて難しい！



歌を歌いながら、椅子に座ったままりズムに
合わせて身体を動かしました♪



若桜町ボランティアセンター（若桜町社会福祉協議会）

TEL 0858-82-0254 FAX 0858-82-1204

広報誌への写真掲載はご本人のご了解をいただいております。